

# MANUIA

サモアと共に歩んで40年

## JICAボランティア派遣40周年記念式典

日時：2012年9月22日（土） 場所：オラタ ホテル（@サモア）

### サモアに咲いた日・サの輪

サモアにおける青年海外協力隊派遣は昨年、無事40年目を迎えることができました。これを記念し9月22日、40周年記念式典を開催すると共に記念会報を作成しました。記念活動の準備並びに実施に当たっては、多くの帰国隊員の皆様からご支援並びにご協力をいただきました。大変感謝申し上げます。

2012年、サモアは独立50周年を迎えました。また独立10年目に国交を樹立した日本政府が青年海外協力隊派遣取極を結び、隊員の派遣が開始され40年目を迎えた年でもあります。更に、現在の「シニア海外ボランティア」の派遣20周年を迎えるという、青年海外協力隊事業においては大変記念すべき年となりました。

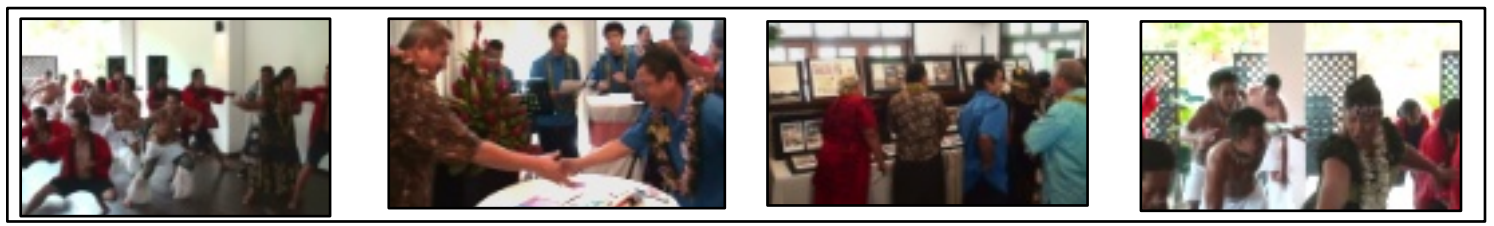


式典の計画に当たっては、どのような内容とするか少々頭を悩ましたところでした。隊員主導に依る実施の方針としましたが、日々の活動に加え、式典の準備は少々重荷であったかもしれせん。しかしながらこの懸念は、式典中の隊員とサモアの若者達とのヨサコイ踊の共演を見て、微塵に吹き飛んでしまいました。やはり主役は隊員達でした。

サモアでは本年1月に日本大使館が開設され、日本とサモアとの関係は新たな時代を迎えようとしています。またサモア側も国連基準による後発開発途上国からの卒業勧告への対応やWTO加盟による競争原理に基づくルールでの対応が求められるなど、変革が求められています。

これから活動する隊員達は、よりダイナミックに変化していく環境下で滞在し、活動することが求められそうです。一方、脈々と引き継がれて来た隊員活動とその成果はタスキのように今後も確実に引き継がれていくことは間違いがないと感じています。

【佐々木克宏 JICAサモア支所長】



## 第13号発行に当たって

この度、多くの方々のご協力のお蔭で第13号の会報発行を迎えることが出来ましたこと心より御礼申し上げます。

さて、昨年はJICAボランティア派遣40周年記念、そしてサモア独立50周年と大きな節目の年でした。6月下旬には駐日サモア大使主催のレセプションが東京で開催され、約250名のJICAボランティア関係者やそのご家族が全国津々浦々から参集しました。会場では至る所で旧交を温める姿が見られました。帰国後数年から何十年と経過しているものの多くの方々の心にはいまだにサモアが存在することが分かりました。これを受け、当OB会は日本における受け皿としてより一層皆様のために活動をしていかなければと心を新たにしました次第です。そして様々なサモアの広報活動等を通して世代を超えそして老若男女が気軽に集えるサモアの「輪」を広げていければと思っておりますのでご協力お願いします。

また東日本大震災から早2年が経過しました。未だに多くの方々が大変な思いをしており、心が痛みます。当OB会としても何かしらの活動が出来ないかと考えております。アイデアお待ちしております。

【大塚一雄 昭和63年度3次隊 SE】

# 駐日サモア独立国特命全権レイアタウア大使 特別寄稿



レイアタウア駐日サモア大使

As Samoa's Ambassador to Japan, I would like to take this opportunity to convey my sincere appreciation to Mr. Otsuka and other former Japanese volunteers who have worked in Samoa over the last forty years for your support and attendance at the Samoa Tokyo Embassy reception, at Hotel Okura, Tokyo, on 29 June 2012 to mark the 50th year since Samoa regained her full independence as well as forty years of Japanese volunteers in Samoa. This reception was largely a practical demonstration of the appreciation and gratitude of the leaders and the people of Samoa for the splendid contribution made by the Japanese volunteers to the development of Samoa as a new and small emerging nation which is in an isolated location in the middle of the vast Pacific Ocean. I sincerely hope that those former volunteers who attended, some with relatives, enjoyed the occasion including the Samoan entertainment bringing

back joyful memories of Samoa, and also meeting fellow former volunteers who they have not seen for many years. On the occasion of the official opening of Japan's Embassy in Samoa last week, which was attended by the Japanese Parliamentary Vice-Minister for Foreign Affairs, Hon. Minoru Kiuchi, and which I also attended, the Prime Minister of Samoa made special mention of the great contribution by Japanese volunteers to Samoa's development and gave sincere thanks to those former volunteers for their work in Samoa. I would like to encourage all the former Japanese volunteers to work closely, if and when you can, with Samoa's Embassy in Tokyo. Your support and cooperation will be greatly appreciated by myself the Ambassador and the Embassy staff. Each of you can maintain your links with Samoa by contacting our Tokyo Embassy and supporting the Embassy and its activities.



Faafetai ma ia Manuia.  
Leiatua Dr. Kilifoti Eteuati  
Ambassador of Samoa to Japan.

## サモア独立50周年・JICAボランティア40周年 記念レセプション

日時：2012年6月29日（金） 18:30～20:30 場所：ホテルオークラ「曙の間」

6月初めサモア独立50周年・JICAボランティア40周年の記念式典と題した招待状を頂き、また初代隊員としてのスピーチの依頼を頂いたため、式典への出席も躊躇していませんが、逃れられないと観念した次第です。招待状を頂いた時に初めて40年という歳月が過ぎた事も知りました。式典当日は、数十年間会っていない方々に会え、また、シバ・サモアを始め素晴らしいパフォーマンスに酔いしれた至福の一時でした。特に、シバ・サモアは、サモアの彷彿としたエネルギーが感じられ、隊員当時のことが頭をよぎり、やや感傷に浸った次第です。このような迫力のあるパフォーマンス



山川サモア初代隊員

が東京の中心で出来ること自体が、素晴らしいことであり、且つ、日本にもサモアの方が多くなって来たのだと感じ入りました。大変残念であったのは、時間の制約で多くの方々とお話出来なかったことです。また、小生の歳からすると今生の別れになると思われる方も多く参加され、本当に貴重な場所と時間を設けて頂き、深く感謝しております。更に後日、素晴らしい記念誌をお送り頂き、編集に携わった委員の皆様、ご苦労様でした。40年前と比べると、隊員の職種、人数も大幅に違い、また余暇の過ごし方も多様化しているようですし、隊員の皆様の現地への溶け込みも様々であることが理解できました。首都アピアの街並みも2階建ての建物しかなかった当時と比べると様変わりしていると聞きました。不幸にも津波の被害があったにしても自然、特に海辺の美しさは殆ど変わり無いように見え、郷愁をそそられた次第です。式典で多くの方とお話出来なかつた分、時々、お送り頂いた記念誌を見て、一方通行ですが、サモアを思い出しております。最後になりましたが、協力隊サモアOB会を中心に、サモアという一つの場に関わった皆様の環が益々大きく、且つ、強固なものになっていくことを願っております。



【山川精一 昭和47年2次隊】



# 祝！ サモア独立記念式典

日時：2012年6月1日 場所：サモア



月1日の朝7時から12時までの記念式典&パレード(Mulini'u 国会前広場)、サモア政府主催の昼食会、晩餐会(ロバート・ルイス・ステイブソン博物館)などの公式行事や、トウイラエ八首相への表敬訪問などにも同席することができました。どの行事も時間通りに始まり、スムーズで心配りの行き届いた進行でした。また、行事の中にはカヴァの儀式や歌・踊りも取り入れられ、サモアらしさあふれるプログラムでした。アピアの町全体が50周年記念のシンボルデザインや草花で飾られ、記念のTシャツや民芸品などを売る露店もたくさん並んでいました。(ビルヴァイリマも、独立50周年記念ラベルでした!) 20年前に比べ、サモア国内の道路や建物、住



家元首タマセセ・エフィ殿下  
行軍でた3日間  
たが、6



サモアンファミリーとの  
20数年ぶりの再会

後日談：校長先生のお孫さん(女性)がJICA研修員として訪日し、11月末に筆者の地元「会津」でホームステイをしたそうです。彼女に接した人たちはみな、口をそろえて、「いつかサモアに行きたい!」と言ってくれたそうです。

【小熊法則子 平成2年3次隊音楽】

宅、衛生状態などは格段に良くなっていました。環境への配慮も進んでおり、南太平洋諸国をリードする取り組みを行っています。公式行事の合間を縫って、20年前にお世話になった方々とも再会できました。音楽学校の校長先生とその家族、日本でのJICA技術研修へ送った教え子、ホストファミリーのお母さん、当時JICA事務所に勤務していた理恵子さん…。20年を経て、それぞれの時間が流れたことを知りました。

2013年1月、首都アピアに日本大使館が開設されることになりました。これまで以上に日本とサモアの友好関係の発展が期待されます。私達夫婦もサモアとの絆を大切に、微力ながら日本とサモアのお役に立てたら、と思っています。

## 第2回サモア写真コンテスト



【サモアOB会大賞】

2013年の最初の企画として、第2回サモア写真コンテストを実施しました。今回の目的は、これまでウェブサイト、パンフレットや各種イベントで使用してきたサモアの写真が、古くなってしまったため、最近のサモアに加え、今年JICAボランティア派遣40周年記念ということもあり古きよきサモアの両面を一般の方々知ってもらうために企画しました。

皆様のご協力により、16名の方々から、72作品と前回を大幅に上回る応募を頂きました。これも皆様のご支援ご協力があったることと大変感謝しております。

## これぞサモア"豚の丸焼き"

どれも甲乙つけ難い素晴らしい作品でしたが、皆様からの投票により7作品+サモア大使賞を決定させて頂きました。

今回の特徴は、サモア大使のご好意により、サモア大使賞が新設されたこと、現職隊員の応募が多数あったこと、またFB活用した周知、投票を企画したことです。

まだまだ、課題は山積しておりますが、これからも一人でも多くの方に参加して頂ける企画を提案できればと思っておりますので、よろしくお願します。

【新井克芳 昭和63年1次隊 電話交換機】



【サモアOB会準大賞】



【サモアOB会準大賞】

# 第5回協力隊まつり

日時: 2012年4月20-21日 場所: JICA地球ひろば



サモアブース前でパンケケでハイチーズ

今年の協力隊祭り、今回で広尾の地球広場ともお別れということでは懐かしいさみしい思いではないでしょうか。あいにくの曇り空の中でしたがサモアブースはいつものように飾られたサモアの写真などで常夏の空気満点でした。

さてわたしティナフジワラですが、サモアの親善大使を名乗っていながらなんとパンケケを作ったことがない。トウイラエバ首相ごめんなさい。他隊員の方々の慣れた手つきを参考にチャレンジしてみるのが、これがかんがえ難しかったですね！丸く大きく膨らませるには熟練の技がいるようです。サモアのお母さん達がいつも簡単に作っているように見えていましたが改めて感心感心。やはりおふくろの味なのですね。結局お鍋は澤井OBに任せて揚がってきたパンケケ

## さらば！ 広尾訓練所



来場者で賑わう会場

に砂糖糖をかける係に徹しました。サモアブース以外にもメキシコブースではワインの試食があり、コチラも珍しい味を堪能。チーズもおいしかったです。また大ヒットだったのがフィリピンブースのチキンアドボ。ナンプラーとお酢で煮込んだフィリピンの家庭料理だそうです。初めて食べて病み付きに。それ以来、自宅でもよく作るようになり今やフジワラ家では大人気の定番になっていきます。おっと、アドボだけじゃなくてパンケケも作れるようにならなげやですね。思い返せば3年前、始めたばかりのダンスチーム「サモアナサモア」の生徒さん達と一緒にこの協力まつりで踊ったこともありました。残念ながら今年には音楽や踊りを用意できませんでしたが、次回のグローバルフェスタではまたぜひ一杯盛り上げたいと思いますのでみなさまぜひ遊びにきてくださいね！！

【サモアナサモア代表 藤原ティナ】

# 国際協力・交流フェスティバル2012

日時: 2012年11月10-12日 場所: JICA沖縄国際センター

## 沖縄がサモアに！

民族衣装の試着コーナーの一角で、ポリネシアの唄が流れ始めた。前日の練習に参加していなかった私も手をとられ、ダンスを踊ること。出演30分前。そもそも、前日にも、そんなに練習できていないから大丈夫！だそう。こうなったら、笑顔で楽しんだもの勝ちなのです。

体育館のステージで繰り広げられる「世界の唄と踊り」。ラバラバとレイを身につけた大洋州ダンサーは、研修生とOVを合わせて40名ほど。男性陣が塗りたくったココナツオイルの匂いが、現地を思い出させます。そして、不思議と家族のような一体感に包まれます。

ほぼぶつつけ本番な私たちでしたが、ステージは大成功。(自分たちが盛り上がったからという説もあり?) 最後は日本人も、アフリカ人も、南米人も...みんなを巻き込んでのダンスで、さらに、さらに、大盛り上がり。



大洋州からの参加者

で力チャール

最後にみんな事や宴などの

シー(手踊り)を踊ります。最後の、血が騒ぐ瞬間、この空気感



カバの儀式

の空気感を感じます。そして、もう一つのメインプログラムは、研修生と本土から来たOVを中心に行われた大洋州各国の紹介。各国の似ているところ、似て非なるところが浮き彫りになり、面白い企画でした。

「サモアでは、バスが満席の場合、乗客はどうするでしょう?」という質問に、観客からは、驚きや笑いの中、サモアの紹介が行われた。沖縄出身サモアOVの金城進さん(平成2年度2次隊)も、サモアでの研修から帰国後、すぐに駆けつけてくれ、お土産のタロチップをみんなで試食。サモア人によるカヴァの儀式も、思いのほか人気でした。そして、遂には、音楽を流し、サモアダンスを勝手に踊りだす、陽気なサモア人。サモアはダンスなしには語れない。観客を楽しませるには、自分自身が楽しむこと。みなさん、緊張のシーンでは、サモアの精神をお忘れなく!

\*参加者は、サモアからの研修生、サモアのOB木村さん(平成21年度2次隊)と加藤さん(平成22年度2次隊)、でした。

【上嶋円香 平成18年度3次隊 美術】



# マヌサモア vs 日本

日時: 2012年6月17日(日) 14:10~ 場所: 秩父宮ラグビー場



30分までは0対16とサモア代表をリードしており、日本代表勝利への期待が高まりました。その

健康診断のため日本に一時帰国した折、丁度IRBパシフィック・ネーションズカップ2012が日本で開催されており、幸運にもサモア代表(マヌサモア)VS日本代表の試合を、妻とともに観戦することができました。既に梅雨入りしていましたが、秩父宮ラグビー場はまずまずの天気であり、ハイボールを飲みながらの観戦でくつろぎ且つ楽しむことができました。サモア代表の実力やスクラムを中心としたプレイスタイルから、個人的にはサモア代表の圧勝と日本人プレイヤーの肉体的ダメージを予想していましたが、日本代表が2トライや2ペナルティゴールを決めるなどで、前半



ラグビーはサッカーや野球よりは身近でないが、伏見工業高校ラグビー部の泣き虫先生こと、山口良治監督の講演などは、楽しんだものです。

## 2020年ワールドカップ開催 大丈夫か日本

の後は流石にサモア代表が実力を発揮し、2トライや正確なゴールなどで逆転し、後半24分までは27対16とサモア代表が優位な展開となり、このまま終わるかと思われましたが、その日の日本は、いつもと違っており、残り3分前には、後半の2トライ目を挙げ、あと1点差と迫り、もしコンバージョンゴールが決まっていれば、日本代表が勝てたかもしれないが、最終的には、27対26で日本代表が惜敗した。

サモア代表は、全勝でIRBパシフィック・ネーションズカップ2012の優勝チームとなり、上半身裸のラグビーが、シバタウを踊り、秩父宮ラグビー場に詰めかけた約6000人の観客から、祝福を受けました。会場の一部に陣取っていたサモア人たちも、大声を上げて喜んでいました。試合中は気付きませんでした。私の真後ろの席に、元横綱武蔵丸(生まれはアメリカカンサモア)が観戦に来ていたので、許可を得て一緒にハイチーズ! 【北住基 平成23年2次隊 冷凍

サモアの国歌斉唱、Manu-Samoaの八カ・PK、日本ゴールシーンなど以下でご覧になれます。

<http://www.youtube.com/user/banekkosamoa?feature=mhee>

ついにペールを脱いだ「マヌサモアシャツ」胸のゲンコツがシンボリックです。



【機器・空調】

# 新年会2013

日時: 2013年1月26日(土) 場所: 上野

新年会の報告ということを書いたら良いか迷うところですが、まずは一番報告したいことを書くことにします。新年会では色々な人と飲んだり話したり、歌ったり踊ったりとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとございました。

## 老若男女世代を超えての

イブが開催されました。2次会会場では店長や店員さんとも一緒にどんちゃん騒ぎ。さぞかし迷惑な... いやいや、笑顔さえあれば何でも良いのです。笑顔は世界を救います。笑顔は負のエネルギーを吹き飛ばします。現に、職場で半分以上の人がインフルエンザで休んでいるとき、ぼくはびんびんしていましたが。最近の日本は笑顔が少なくて、病と同じく笑顔も伝染します。サモアOB会が皆さんに潜伏している笑顔菌を呼び覚ます。そんな気がします。いつも、話しがそれてしまいすみません。貴重な時間を過ごさせていただき、ほんとにありがとうございました。

【野口祐作 平成16年度3次隊 理数科教師】

当日は有名な三線の先生やあのダンスの先生も参加していたこともあり、即興でダンスつきの沖縄民謡ラ



和気あいあいと楽しむ参加者

# サモアに日食グラスを送ろう

## 日本の善意がサモアへ!

ジ等205校、ウポル島内教会系の学校6校、サモア国教育・文化・スポーツ



「サモアの子供たちに「日食グラス」を」と言うサモアで活動中のシニア海外ボランティア新沼さんの呼びかけをFBで見たのは6月半ばのことでした。折しも6月29日に東京で開催されるサモア独立50周年とJICAボランティア派遣40周年の記念式典への出席を決めた頃だったので、折角、サモア関係のボランティアが結集するのだからと大塚OB会長に相談し協力を呼びかけたのです。私の住む大分県OB会にも協力を依頼、特に大分市関崎海星館から大量に提供頂き300個を越す日食グラスが集まり新沼さんと連絡しご自宅へと送らせて貰いました。

そして先日、1月に任期を終了し帰国された新沼さんから丁寧なお礼と報告を頂きました。以下に要約させていただき私たちの報告とさせていただきます。<以下要約>



「提供していただいた日食グラスは、7000個以上あり、サモアでの配布先はプライマリ、セカンダリ、カレッジ

ツ省、テレビ局2カ所、新聞社2カ所、ラジオ局、気象局など、それ以外にもトンガのJICAボランティアの方々から40個です。提供された日食グラスは、サモアで見られる次の「2013年5月10日の部分日食」でも使う予定です。」

新沼さんがFBに掲載したのが6月16日から一週間といえます。それでもすぐに1000個以上が集まったとのこと。このネット情報の威力の凄さに驚きすぐに元の掲載を削除。しかし時すでに遅く(?)情報は拡散されて行きます。

そして結果的に2000通を超える手紙と総数で7000個以上もの日食グラスが集まったのだそうです。これらをサモアに送るには莫大な送料がかかるかとJICAや大使館にも相談したのだそうですが結果的には個人で送るしかなかったとのこと。善意のつもりが個人的に多大なご負担をかけたことになってしまい心苦しい限りです。

ご協力を頂きました皆様ありがとうございました。

【山崎義行 昭和62年1次隊 宅内電話工事】



# グローバルフェスタ2012

日時: 2012年10月6-7日

場所: 日比谷公園



いつも元気な日焼け美人

今年の初日は「天高く馬肥ゆる秋」という言葉がぴったりと似合う晴天の中での開催、そして今年の「チームサモア」のメンバーは女子高生、社会人一年生の日焼け美人、OB・OG、そしてその家族さんらにはそのお友達等々とパワー満載でした。

初対面の方々もいる中、そんな事は一切感じさせない絶妙のチームワークにより、リピーター絶賛のパンケケは量産され、そして売れに売れまくりました。最初は半信半疑で購入した方も一口頬張ると、笑顔で「おいしいー」との声...それはそうでした。レシピーには関係者だけが知っているサモア4000年の秘伝、「LOVE」が入っているからです。そしてこの「おいしいー」とい

## 今年も健在チーム"サモア"



元気一杯のチームサモアのメンバー



絶好調のパンケケ!  
100円/本

「大塚一雄 昭和63年度3次隊 SE」

う言葉を励みに疲れを感じつつも我々はせつせと「パンケケ」作りにいそむのです。さらなる「愛」を込めて。



パンケケ販売に勤しむOB・OG



## 近況報告

今回OB会の活動の一環として、過去にサモアに派遣されたJOCV・SV・JICA関係者等400人を超える方々に近況報告をお願いする往復はがきをお送りしました。古くは昭和40年代派遣のJOCVの方から、最近帰国した隊員、SVまで多くのOB・OGの方々の御返信下さり、皆さまの近況を知ることが出来ました。

皆さまからのメッセージを見てまず驚いたのは、海外で活躍している方々が非常に多いことです。サモアでの活動終了後、再度別の国に派遣されたり、留学したり、というケースが非常に多いようです。皆さまサモアでの体験をきっかけにしてさらに世界に羽ばたいていることと思います。

残念ながらご家族からのご連絡で、物故者となられたのご報告も数件ありました。もう初期の頃の隊員の中には大分お年の方も多いため、お亡くなり

## サモア時代にタイムスリップ ～みんな元気にしてますか？～

また、同期や近い隊次で今でも連絡取り合っている、とか、サモアが懐かしい、とか、今度は非サモアに行きたい、等のメッセージも多かったです。

今回の近況報告をきっかけに多くのOB・OGに連絡が取れて、サモアを懐かしく思い出してもらい良かったと思います。今後OB会ウェブサイトやサモア関係のイベントを通して多くのOB・OGの方々と知り合えればいいなあ、と思っております。まだ近況報告のハガキ出していない人は今からでもOKなので是非ご一報下されれば幸いです。

【清水幹雄 平成6年3次隊 数学教師】

## 平成24年度会計報告

本年度も皆様から会費のご支援ありがとうございました。各種イベントへの参加や会報の作成などの活動を通してサモアの広報および親善活動に有効に資金を使えたかと思っております。今後ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

【S63-3 SE 大塚一雄】

収入		支出	
会費	132,000	通信費	86,940
事業収入	92,897	事業費	178,571
助成金	169,976	JOCA年会費	30,000
		雑費	6,600
小計	394,873	小計	302,111
前年度繰越	914,581	次年度繰越	1,007,343
合計	1,309,454	合計	1,309,454

## OB会新メンバーご紹介

今年当OB会には3名の新たなメンバーを迎えました。まずはJOCV訓練生の前からOB会に関わりがあった木村さん（H21-2）、そして帰国ホヤホヤで私生活ではラブラブの敷元さん（H23-1）、最後は4月から仕事が決まり色々な意味で責任が増した板垣さん（H21-4）です。このように次世代につながったことはとても嬉しい限りです。世代を超えてサモアのために頑張りましょう。皆さん宜しくお願いします。またサポートお願いします。

OB会役員一同

## サモアOB会功労者表彰

### ～グロフェスのちょっといい話～

元気パワーでOB会をお手伝いしてくれている「なつ」と「まさ」の二人のこども店長、最近ではしっかりその仕事ぶりは板につき、サモアOB会の「顔」となっています。そんな二人にOB会から日頃の感謝の意味を込めて「感謝状」を贈呈しました。



かずき兄さんに会えてうれしかった。早速、シュロバッタを作りに行った。ブースでは手伝いも味見することも頑張った。カリッカリに揚がったパンケケがおいしかったな！ 菜都季（二代目店長）



かずき兄さんと看板を作った。それを持って「パンケケおいしいよ！」と会場をまわった。注文があって、出前までした。すっごくおもしろかった。賞状がうれしかった。 雅文（二代目店長）



久しぶりに2代目店長たちに会えて安心しました。手伝いが出来て自分達が力になっていることが実感出来ました。時間があればまた手伝いたいと思います。 主貴（初代店長）

## 現地ボランティア紹介

氏名：河本 健造

職種：平成23年度4次隊 木工

配属先：マタエアバベ中高等学校

サモアの学校ではデザインを考へなくてはなりません。ただ作るアンド テクノロジーだけの授業ではなく、家具作りに必要と呼ばれる科目、日本の学な知識、考え方を生徒たちに分かって校での技術の授業によく似もらえらるような授業を、楽しく教えていると思ひます。その中いききたいと思ひています。しかしこれに主に実技の授業を担当しなかなかつまぐいかないのですが・・・

具作りです。椅子や机、本楽しい授業をこころがけて行きたいと思ひます。

のを作ります。一言で、家具作りと言つても、単に木を切る、釘を打つといった事で簡単にできるものではありません。何が必要で、どんなふうにつつたら、人に親切な家具が作れるか？、図面を書く、さまざまな事



氏名：平塚 秀輔

隊次/職種：平成24年度1次隊 理数科教師

配属先：レファガ中高等学校

配属先では、Year 11 の理科、Year 12 の生物を担当しています。大量の実験器具、試薬が届いたの追伸：今までずっと、執筆中という言葉を使つてみたかったです。

でその整理・管理も行っていきます。他に、教育省主催の理数科プロジェクトにおいてサモア人教員対象に生物分野の講義をしていきます。また、サモアの国家試験の過去問集を解説付きで発行するため執筆中です。

今年に入り、増築した新校舎で授業を行っているのですが昨年のサイクロンの影響により旧校舎が大破し、5つの教室が現在も使用できなない状況です。前任者の向井さんの家だったところは・・・全壊です。



氏名：大島 慧

隊次/職種：平成24年度1次隊 理数科教師

配属先：パラウアカレッジ

板垣さんの後任で、シモア統一試験の過去問集の作成などに派遣されています。ものどう活かすかを伝えるために、現在は教員が不足しているワークショップや学校訪問などの機会であり、特に理系会を利用して、本校のみならずサモアは深刻な教員不足の結果、ア全体の数学教育の成績向上を目指指導教科が二転三転しますべく活動していきたいと思つておりました。昨年は数学、化学、ります。残り活動期間は1年ちよつコンピュータなどをYear 10とですが、その中で形になるものをar 10、12の生徒に教え一つでも残せるていました。今年はいつよう努力していきたくり腰を据えてYear 12の数学を担当したい後ともよろしくと思つております。また、お願ひします。

基礎教育理数科教育改善プロジェクトにも側面的支援を行うべく、現在サ



氏名：梅田 力

隊次/職種：平成23年度4次隊 美術

配属先：モアタア小学校・ファガリイ小学校等巡回

小学校で、美術教育の普及に取り組んでいます。サモアでは、近年小学校でも美術（図画工作）が必修になりました。

しかし、現場では美術科指導の知識や経験不足から、あまり美術の授業が行われていないようです。

そこで、私は生徒への授業及び現地教員への美術科指導法の伝授を主に行なっています。また、より良い美術教育の環境を整えるため、道具の管理や、購入等のアドバイスも行なっています。活動はモアタア小学校での

活動を中心に、近隣校の巡回指導も定期的に行なっています。





## 現地ボランティア紹介

氏名：早川 勝光

隊次/職種：平成24年度1次隊 SV 理数科教育

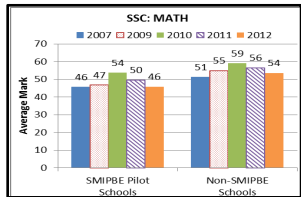
配属先：教育省

過去6ヶ月には、入手可能な2007年からの統一テストの成績の分析を行いました。このSSCの成績を学校別に見ると、いくつかのプロジェクト参加校は著しい成績の伸びを示しました。SMIPBEプロジェクト

2012年6月末に着任し、教育省で理数学力改善プロジェクト(SMIPBE)を支援しています。中等教育校の理数教員の訓練、サモア国内統一テスト(SSC)対策など、すでに3人のSVが指導されているので、新しく加えるものはありませんのでサモアの担当者の欠けを補う活動を行っています。

過去6ヶ月には、入手可能な2007年からの統一テストの成績の分析を行いました。このSSCの成績を学校別に見ると、いくつかのプロジェクト参加校は著しい成績の伸びを示しました。SMIPBEプロジェクト

2012年6月末に着任し、教育省で理数学力改善プロジェクト(SMIPBE)を支援しています。中等教育校の理数教員の訓練、サモア国内統一テスト(SSC)対策など、すでに3人のSVが指導されているので、新しく加えるものはありませんのでサモアの担当者の欠けを補う活動を行っています。



SMIPBEプロジェクト参加校と非参加校の統一テスト数学の結果

氏名：茂木 慎太郎

隊次/職種：平成22年度4次隊

柔道

サモアは南太平洋に浮かぶ小さな島国であり、食べ物是一年半分は素人に近いという状況で段階として中実をならせ、気候も一年中温暖な穏やかでとても豊かな国です。一方で、生活が近代化し、海外からの輸入品が生活の一部となつた今、経済のバランスをとる為にもその他の先進国との足並みを揃えることが急激に求められているように感じます。

柔道隊員における私の役目は、ナショナルコーチとして国内選手の強化と柔道の普及活動を行うことが現在主な活動となっております。ナショナルコーチといいつつも、現在の国内の青年メンバーは全部で10人程。練習に

来るメンバーは5〜6人程度、そのうち半分は素人に近いという状況で段階として未だ普及活動が優先的に行われなければいけない状況です。また柔道場も国内に一つだけであり、練習内容も世界のレベルに追いつくにはまだまだ時間がかかるといった状況です。それでありながらワールドカップを2009年からの4年間をサモアで誘致することに成功し、サモア柔道のプレゼンスを見せる為に劇的な成長と成果が求められています。



## 在サモア日本大使館開設式



写真1

日本大使館開設式典が平成25年2月20日(水)にTanoa Hotelにて行われました。城内実外務大臣政務官、渋田参事官、Tui国家元首、Tui laepa首相、Fonotoe副首相、在サモア各国大使館関係者、日本外務省関係者、在サモア企業トップなど総勢200名が出席されました。

この式典のために来させた城内外務大臣政務官は冒頭のあいさつで、「これまで築いてきた日本とサモ



真ん中の建物が大使館です。

写真1：左端：Tui国家元首、左か2人目：Tui laepa首相、右端：城内外務大臣政務官

写真2：冒頭の挨拶をする城内外務大臣政務官

写真3：会場の様子



写真3



写真2

【現地特派員 宮崎太】  
この良好な関係を維持していきたい」と話されました。

アの関係を、より強く深くしていきたい」と話され、それを受けてTui laepa首相は、「日本からはボランティア派遣に見られるような長年に渡る支援に感謝している、これからこの良好な関係を維持していきたい」と話されました。

# 現地ボランティア紹介

## OB会紹介

当サモアOB会はJCOA公認の正式なOB会として運営されており、大洋州で最初に発足したOB会でもあります。青年海外協力隊のOB会は各国にあると思われがちですが、意外なことにその数はわずか10カ国ほどしかありません。

これまで平成6年（1994年）の発足から20年弱の間、隊員OB有志によって運営されており、現在では青年海外協力隊OB・OG、シニアボランティア、専門家、JICA及びJOCV関係者など、400名を超える方々で構成されています。

OB会の具体的な活動内容は、メーリングリストによる情報発信や年一度の会報発行をはじめ、グローバルフェスタでの出展・ドーナツ販売、新隊員壮行会や帰国隊員との親睦会開催、外部組織と連携したサモアの広報やイベント開催など、幅広い活動を行っています。

## OB運営ボランティア募集

当OB会では、サモアに対する想いや経験を共有しながら、共に活動を盛り上げてくれるメンバーを大募集中です！昨今、OB会の活動やイベントに参加してくれる人も固定化してきており、運営メンバー側にも新しい発想や経験・想いを持った人材が必要になっています。とは言え、堅苦しいことは一切なく、サモアらしいゆる～い感じで運営していますので、サモアを懐かしく思うことが少しでもあれば、ぜひ一緒に参加してみませんか？まずは軽い気持ちで顔を出してもらっただけでも構いません。OB会の活動に対する積極的なご意見やアイデア、提案などもお待ちしております！



## 編集後記

～ 役員の皆さんいつもお疲れ様です～

### 【新井克芳 H63-1 電話交換機】

ここ数年、役員として貢献できなかった状態でしたが、facebookと連動した企画でお手伝いできて、内心ちょっとホッとしております。facebookがきっかけで当時のサモア人スタッフと連絡が取れたり、サモアも20数年前とは変わったものだと感じております。当時のイメージを壊したくない反面、モールがオープンした近代サモアも見たい複雑な心境です。これからもサモアと日本の架け橋となれるよう微力ながらがんばりたいと思いますので、宜しくお願いします。

### 【木村竜輔 H21-2 理数科教師】

このたびOB会の運営メンバーとしてお手伝いさせていただくことになりました。2011年9月に活動を終え、帰国して1年半ほど経ちましたが、縁あってサモアで知り合った隊員と結婚することになるとは派遣前には思ってもいませんでした。開催場所や日程の都合上もあってか、最近ではOB会活動や各種イベントにも、メンバーが固定化しつつあり、若い隊員のメンバーの協力が必要になって いますので、ぜひ一緒に盛り上げていきましょう。

### 【野口祐作 H16-3 理数科教師】

いつの間にか今年度ももう終わりになってしまいました。昨年度の終わりに今年度は出来るだけイベントに参加しようと思っていたのですが、今年もあまり参加出来ませんでした。異常気象や先の見えない世の中。先のことより今を精一杯元気に楽しく過ごしていきたい、そう感じる年でした。来年は更に磨きをかけていきたいと思います。

### 【大塚一雄 S63-3 SE】

サモア独立50周年、JICAボランティア派遣40周年、そして我がOB会設立20周年、さらにはサモアで時を同じくして活動していた仲間の遺児が成人を迎えます。時の流れを感じます。

### 【清水幹雄 H6-3 数学教師】

短期SV終了してから3年が過ぎました。未だに無職で派遣アルバイト生活である。3度目のサモア行きの話があるのでどうしようかなあ。サモア行きとなったら今度はサモアからの近況報告送ります。NiuとVailimaが懐かしいなあ。



サモア関係者各位

平成 25 年 3 月吉日  
青年海外協力隊サモア OB 会  
会長 大塚 一雄

## サモア OB 会第 13 号会報「MANUIA」の発行について

拝啓

今般、当 OB 会<sup>1</sup>では多くの方々のご協力により第 13 号会報「MANUIA」を発行することができました。すでにサモア ML(メーリングリスト)<sup>2</sup>にご登録頂いている方にはメールにてお知らせをしておりますが、改めて当会の活動内容を知って頂くため会報を送らせて頂いております。

今回の会報は昨年の JICA ボランティア派遣 40 周年及びサモア独立 50 周年だったということでこの関連イベントの記事を中心に作成をしています。その中にはレイアタウア駐日サモア大使や佐々木 JICA サモア支所長の寄稿を従来の現場の声に加えて掲載しています。

お読みになっていただければ今年も盛りだくさんの記事を満載しています。ぜひご堪能いただければと思います。

また当 OB 会では、サモアに対する想いや経験を共有しながら、共に活動を盛り上げてくれるメンバーを大募集中です！

昨今、OB 会の活動やイベントに参加してくれる人も固定化してきており、運営メンバー側にも新しい発想や経験・想いを持った人材が必要になっています。とは言え、堅苦しいことは一切なく、サモアらしいゆる～い感じで運営していますので、サモアを懐かしく思うことが少しでもあれば、ぜひ一緒に参加してみませんか？まずは軽い気持ちで顔を出してもらうだけでも構いません。

OB 会の活動に対する積極的なご意見やアイデア、提案などもお待ちしております！

またこの機会を捉えてひとつ OB 会からお願いがございます。現在、OB 会の活動は全てボランティアで行っております。しかしながら、会を運営するに当たりましては、少なからず経費が必要となります。このため当 OB 会では従来から会費制を採用しております。

つきましては、当 OB 会の趣旨及び活動にご賛同頂ける場合は以下の OB 会口座<sup>3</sup>に年会費（2,000 円）をお振込み頂ければ幸いに存じます。ご不明な点などがございましたら [samoa@fafetai.net](mailto:samoa@fafetai.net) へご連絡下さい。

敬具

<sup>1</sup> サモア OB 会とは (<http://www.fafetai.net/>)

サモア OB 会は、JOCV の OB・OG を中心に、その経験を生かしてサモアと日本の親善に寄与し、会員相互の親睦を図る目的で、1994 年に設立された任意団体です。当初サモア関係者は 200 名程度でありましたが、現在では JOCV、SV、専門家、JICA 元所長・駐在員、JOCV 調整員などを含め 450 人を超える大所帯になりました。

<sup>2</sup> サモアメーリングリスト

先づ ML へ登録ご希望の方は次のアドレス(<http://fafetai.net/mailman/listinfo/vailima-fafetai.net>)から登録が出来ます。経費削減及び迅速な情報伝達のため是非ご登録下さい。手続きがご不明な場合は [samoa@fafetai.net](mailto:samoa@fafetai.net) へお問い合わせ下さい。 )。

<sup>3</sup> **振込先口座**

金融機関：ゆうちょ銀行 支店名：なし 口座種類：普通

口座番号：00150-9-544721 口座名義：セイネンカイガイキヨウリヨクタイサモアオービーカイ